

様式(文部科学省ガイドライン準拠版)

2024年度

自己評価報告書

(評価期間：2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年6月1日

JTB ツーリズムビジネスカレッジ

目 次

本書の使い方	p 01
1. 学校の理念、教育目標	p 02
2. 本年度の重点目標と達成計画	p 03
3. 評価項目別取組状況	p 04

基準 1	教育理念・目的・育成人材像	p 05
1-01	理念・目的・育成人材像	p 06
基準 2	学校運営	p 08
2-02	運営方針	p 09
2-03	事業計画	p 10
2-04	運営組織	p 11
2-05	人事・給与制度	p 13
2-06	意思決定システム	p 14
2-07	情報システム	p 15
基準 3	教育活動	p 16
3-08	目標の設定	p 17
3-09	教育方法・評価等	p 18
3-10	成績評価・単位認定等	p 21
3-11	資格・免許の取得の指導体	p 22
3-12	教員・教員組織	p 23
基準 4	学修成果	p 25
4-13	就職率	p 26
4-14	資格・免許の取得率	p 27
4-15	卒業生の社会的評価	p 28
基準 5	学生支援	p 29
5-16	就職等進路	p 30

5-17	中途退学への対応	p 31
5-18	学生相談	p 32
5-19	学生生活	p 33
5-20	保護者との連携	p 35
5-21	卒業生・社会人	p 36
基準 6	教育環境	p 38
6-22	施設・設備等	p 39
6-23	学外実習、インターンシップ等	p 41
6-24	防災・安全管理	p 42
基準 7	学生の募集と受入れ	p 44
7-25	学生募集活動	p 45
7-26	入学選考	p 47
7-27	学納金	p 48
基準 8	財務	p 49
8-28	財務基盤	p 50
8-29	予算・収支計画	p 52
8-30	監査	p 53
8-31	財務情報の公開	p 54
基準 9	法令等の遵守	p 55
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	p 56
9-33	個人情報保護	p 57
9-34	学校評価	p 58
9-35	教育情報の公開	p 60
基準 10	社会貢献・地域貢献	p 61
10-36	社会貢献・地域貢献	p 62
10-37	ボランティア活動	p 64

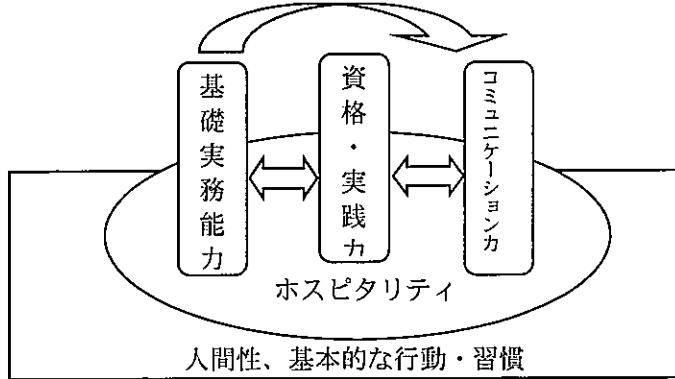
4. 2023年度重点目標達成についての自己評価	p 65
--------------------------	-------	------

「自己評価報告書」について

- 1 この「自己評価報告書」は2013年3月、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」に示された「項目別の自己評価表イメージ」及び「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表」などを参考に構成されたもので、各評価項目は、私立専門学校等評価研究機構がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」が適用されたものであります。

- 2 チェック項目別の自己評価については、現状の取組状況を4段階で自己評定したものであり、その考え方は以下のとおりです。
 - 4：適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 - 3：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組が期待される。
 - 2：対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 - 1：全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1. 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p><教育理念></p> <p>ツーリズム業界に必要な専門能力・ホスピタリティと共に、社会人・職業人としてグローバルに通用する人間性・基本能力を備えた人材を育成する。</p> <p><私たちがお客様に約束すること></p> <p>私たちは、JTB の学校ならではの優れた実践的教育と徹底した個別指導により、高い就職率と一人ひとりの“ゆめ”の実現に貢献します。</p> <p>また、私たちは、40 年に及ぶ学校運営の実績を大切にしながら、ツーリズム業界の環境変化やニーズに応えるカリキュラム改革を継続し、社会に認められる学校づくり、人づくりに邁進します。</p>	<p><教育方針></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ツーリズム業界に必要な知識と実務能力を習得させる。 2. ツーリズム業界に必要なかつ有効な資格を取得させる。 3. 知識だけでなく、実践に生かせる能力を習得させる。 4. 職業人としての基本となるコミュニケーション能力を習得させる。 5. ホスピタリティの精神を行動に表わす能力を習得させる。 <p><ツーリズム業界に必要な能力></p>  <p>The diagram illustrates the components of required abilities in the tourism industry. It features three vertical boxes: '基礎実務能力' (Basic Practical Ability) on the left, '資格・実践力' (Qualification/Practical Ability) in the center, and 'コミュニケーション力' (Communication Skills) on the right. These three boxes are interconnected by double-headed horizontal arrows. Above them, a curved arrow points from the center box back to the left box. Below the boxes, the word 'ホスピタリティ' (Hospitality) is written. At the bottom of the diagram, the text '人間性、基本的な行動・習慣' (Humanity, Basic Action/Habit) is written, indicating the foundational elements upon which these skills are built.</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

2. 本年度の重点目標と達成計画

2023 年度 重点目標	達成計画・取組方法
<p>2023 年度の新入学者は 29 名で定員を下回り、期首学生総数は 64 名と昨年より 70 名下回る大幅な定員割れ人数でのスタートとなった。今年度の経営計画は激減した学生数の復活を目指し、「RE-CREATION JTC」を継続する単年度計画として、学校運営は必要に応じ軌道修正と実行検証を図りながら進める。</p> <p>本校は、ツーリズムの多様性に適応できる人間力の育成を目指し、国家試験合格率や就職率へのこだわりに加え、メンタル面も含めた教室外での学生指導に関する支援体制の強化を図りつつ、全教職員が「JTC ブランドにさらに磨きをかける」という意識を持ち、今後も、教育理念に基づいた「高品質な教育の実践」を継続していく。</p> <p>旅行・観光産業の業態変化に対応すべく、デジタルツールを活用した効率的な学習指導、さらには IT リテラシー関連授業の拡充、データマーケティング等新しいカリキュラムの開発を継続し、少人数を強みとした柔軟なカリキュラム設定を行う。</p> <p>また、卒業生の進路については、JTB グループへの就職確保はもとより、「JTB グループ外就職先の拡充」に向けた取組を継続する。学生が身に付けた観光関連知識やホスピタリティといった能力を発揮できる分野を開拓し、新たな企業との関係強化を図ることにより、今後も就職率 100%の維持を目標とする。</p> <p>学生募集についてはツーリズム産業を志す若年層数の減少に対応すべく、HP、SNS 等のデジタルを活用した広報活動の強化を図ると共に、AO 入試やオープンキャンパスの充実に取り組む。新入学者の定員(240 名)の確保を目標とする。</p> <p>今後も JTB グループとの強力な連携を保ちながら、柔軟な発想と対応をもって学校運営に邁進する。</p>	<p>部門別の具体的な達成計画、取組方法は以下のとおり</p> <p><u>募集関係</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SNS・HP を活用した広報戦略 2. 営業活動の強化 3. オープンキャンパス・学校説明会の進化と深化 4. 保護者・既卒生・留学生への取組強化 <p><u>専門教育関連</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国家資格の高取得率と関連資格取得の奨励強化 2. ツーリズム産業の発展に資する新たな知識と人間力向上のためのカリキュラム展開 3. ICT 教育の深耕による効果的な学習指導の確立 4. 少人数を強みにした柔軟かつ効果的なカリキュラム設定 5. 安心かつ継続して学習できる環境整備 <p><u>キャリア支援関連</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ツーリズム産業への幅広くかつ適材適所の人材輩出 2. 環境の変化、学生進路の多様化への対応推進 <p><u>基盤整備関連</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校運営のために必要なコントロールの実践 2. 学習環境・就業環境の整備とデジタルイゼーション 3. 環境に合わせて動ける、柔軟な組織体への変革 4. ブランドコミュニケーション推進 5. 中長期でのブランド再構築の検証

最終更新日付

2024 年 6 月 1 日

記載責任者

鈴木 良照

3. 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>今年度は単年度の経営計画「選ばれる専門学校への進化」とし、引き続き経営理念・教育理念、私たちの役割及び Admission Policy をベースに各部門別に重点課題・重点取組項目を設定し、本校の指導方針として、常勤・非常勤（専門講師）を問わず、全教職員に定着させている。</p> <p>教育理念、教育方針、そして育成人材像については、ツーリズム産業界を意識したものであり、長年のコミュニケーションの深化により、JTB グループをはじめとした関連業界各社の求める人材ニーズに適合していると認識している。</p> <p>この理念に基づく、本校の特色ある教育活動については、多くの関連業界各社から十二分に理解をいただいている。</p> <p>しかしながら、業界を目指す若年層の減少に直面し、また、学生進路ニーズの多様化への対応が必要となっている。今後は本校教育理念を軸に、新たな学校運営環境や教育手法を検討しつつ、柔軟性をもって人材育成に取り組んでいくことが、大きな課題と認識している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年度の状況を踏まえた「重要経営課題」として ① 早期定員の確保（新入学生獲得、退学防止） ② ツーリズム人材の育成と輩出 ③ 少人数による組織体制の構築 ④ 安定経営に向けた新たな収益源の創出 <p>と捉え、課題解決に向けて以下の具体的取り組みを継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① OneJTC による募集・広報活動の実施 ② 学校価値最大化に向けた学校の魅力再整備 ③ 学校教育、運營業務における、デジタル推進 ④ JTB グループとの連携強化とグループ外進路先および職域の拡充 ⑤ 教職員のマルチタスク化による少人数運営 ⑥ 新規収益事業など、新たな取り組みへの挑戦 	

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	鈴木 良照
--------	----------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程(学科)を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4 4 4 4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 本校で定める教育理念については、事業計画に謳い教職員全員及び関係者に周知するとともに、「教育理念」を本校ホームページに掲載し、社会全般に広く周知させている <input type="checkbox"/> 理念を実現する手法として、具体的な分野別実行計画を策定している <input type="checkbox"/> 理念については、事業計画の策定時に確認を行い、必要に応じて見直しを図っている <input type="checkbox"/> 月例の夕礼等で理念の唱和を実施し確認している	トラベルやホテルといった限定した分野での表記になっており、ツーリズムの裾野の広さや多様性に対応する専門学校を表していない。	学校名を「JTB ツーリズムビジネスカレッジ」へ変更すると共に、ツーリズム業界全体の成長発展に貢献するという理念や考え方を統一的に表記する理念に変更。	(学)国際文化アカデミー 2023年度学校運営計画
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程(学科)毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程、授業計画(シラバス)等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4 4	<input type="checkbox"/> カリキュラムとの連動を図ったうえで、関連業界の求める人材要件を明確化している <input type="checkbox"/> 現カリキュラムを策定する際に、関連業界らの協力を得ている。	ツーリズム業界において、幅広く求められる能力を取得できるようなカリキュラムの導入	デジタルマーケティングなどの新たなカリキュラムの導入	(学)国際文化アカデミー 2023年度学校運営計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)にかかわらず教員採用において関連業界からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> ほぼ全教員がJTBをはじめとした関連業界出身者である <input type="checkbox"/> JTBグループ会社や宿泊関連業界から多大なる協力を得ている <input type="checkbox"/> 関連業界の研究機関より多大なる協力を得ている	(続き) 関連業界への更なる協力要請が必要		
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4 4	<input type="checkbox"/> 理念に基づいた当校独自のプログラムにより学生への指導を行っている <input type="checkbox"/> 旅行会社や宿泊施設を中心に取り組んでいる	JTBグループである当校ならではの特色を生かした教育活動の継続	今後も社会環境等の変化に即応しながら、当校の特色を生かした教育活動の実践を目指す	(学)国際文化アカデミー 2023年度学校運営計画 「教育理念」「教育方針」
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的(3~5年程度)視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 事業計画を策定し、これに基づいた構想を定めている <input type="checkbox"/> 事業計画策定時に全教職員に周知している <input type="checkbox"/> 保護者に対しては説明会で、JTBグループ等に対しては事業計画で説明	今後の18歳人口の減少や多様化する観光業界のニーズに合致する人材輩出など、諸課題を踏まえた学校運営体制の維持 長期的な視点にたった計画の策定が必要	各部署の役職者や責任者による会議等で具体的方向性の検討を実施している。 中長期計画の策定	(学)国際文化アカデミー 2023年度学校運営計画 「教育理念」「教育方針」

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>当校の教育理念・目的は、事業運営計画に明記し、全体会議等で徹底しており教職員全員に浸透していると認識している。また、人材育成の過程においては、基本的な知識や実務能力の習得に加え、コミュニケーション力の強化に力を置き、ツーリズム業界で求められるホスピタリティ精神旺盛な人材を理想像とし、その育成に努めることを教職員に徹底している。</p>	<p>観光産業の多様化に伴い、トラベルとホテル以外の分野への就職先が拡大してきており、観光産業の幅広いイメージを表現できるよう、2024年4月より、学校名を「JTB ツーリズムビジネスカレッジ」と変更した。</p>

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営は全体事業計画(中期／単年度)と、各教職員の職務分担に基づき進められている。各部の組織運営職者が計画の進捗状況を点検し、必要に応じて修正を加えるほか、週毎の部長連絡会にて、各々の状況報告、意見交換、対策検討等学校運営全体に関する調整を行い、経営会議及び理事会にて意思決定を行っている。</p> <p>その他、課長相互間の業務推進会議、教務部会等にて、実務レベルでの学校運営状況の共有と共通課題に対する対策の検討が行われている。</p> <p>教職員個々においても、当校事業計画に基づく目標設定、及び半期毎の進捗状況チェックが行なわれており、学校運営の推進と点検は多角的に実施されている。</p> <p>当校は常勤教職員が約 30 名と小規模組織であるため、相互のコミュニケーションは良好であり、部長相互間の意思疎通も上記のとおり十分図られている。新たな課題解決や運営計画の修正、その他学校行事・学生説明会・就職指導などに関する意思決定についても、迅速に行なわれている。</p> <p>教職員は JTB グループ出身の役員・主任講師を中心に構成されており、職務や事業運営に対する責任意識は高く、業務遂行や学校運営は順調に推移している。全体的にベテラン職員が多いものの、組織全体の活性化、変化への対応力強化にも積極的に取り組んでいる。</p>	<p>入学生の減少により定員確保が出来ていないことが、学校運営上において最優先課題となっている。学校を取り巻く環境が刻々と変化を続ける中、将来的な経営リスクを先取りしつつ、以下の項目について強化を図っていききたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校経営における継続課題、重点課題、将来課題を経営メンバーにより幅広く掌握し、課題解決に向けた議論の活性化、事業の具体的推進に関する方向性の意思統一を図る 2. 学習環境・就業環境の更なる向上を目指し、安定的な学校経営を継続すべく、中長期にわたる収支計画・設備投資計画・修繕計画を策定し実践していく 3. 中間管理職層における経営参画意識の向上を目指し、意識改革の促進に向けた取組強化を継続する。 	<p><学校運営計画の基本方針></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入生 240 名以上の安定確保による、経営の安定化と収支バランスの維持 2. 環境変化に応じた教育の実施による、専門能力・意識・行動の向上 3. 就職率 100%の目標達成とマッチング強化 4. 学生、関係者のみならず、社会からも評価される学校づくりの実践 5. コンプライアンス体制の推進・徹底による、健全な学校運営の実現

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	鈴木 良照
--------	----------------	-------	-------

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか	4	<input type="checkbox"/> 事業運営計画に学校運営方針を明確に定め文書化し、徹底している			(学)国際文化アカデミー 2023年度学校運営計画 学則、必携ハンドブック、担任指導要領、行事マニュアル、共有フォルダー
	<input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	4	<input type="checkbox"/> 経営理念、教育方針、事業計画をベースとして学校運営方針を定めている			
	<input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか	4	<input type="checkbox"/> 学校運営方針は全体講師会や各部内会議にて、全教職員に周知徹底している			
	<input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	<input type="checkbox"/> 全体会議、月例の夕礼、個人面談等を通じて確認している			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営方針については、事業運営計画をもとに、全教職員に周知徹底されている。小規模な組織運営のため、相互のコミュニケーションもよく、機会を捉えた再確認もなされている。	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画(3～5年程度)を定めているか	3	<input type="checkbox"/> 今年度については、単年度の事業計画、及び事業分野別計画とし、収支計画と併せ、経営会議、理事会で確認している <input type="checkbox"/> 部長会議、経営会議の場を活用し、計画の進捗状況の確認や、必要に応じた修正を行っている <input type="checkbox"/> 中期計画や単年度事業計画とは別に、経営上の重要課題を前広に整理し、優先順位を見極めつつ課題解決を図っている。	入学者急減を受け、中期計画は策定せず、2023年度は単年度のみ事業計画とした。事業計画通りに実行するものの、状況を見て、臨機応変な対応が必要となる。	今後の入学者推移も想定し、将来的な中期計画の策定を行いたい。	(学)国際文化アカデミー 2023年度学校運営計画
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4				

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
事業運営計画については、本校の教育理念を達成するため、分野別に担当役員や部長を中心に原案策定の後、経営会議等にて全体計画を確認している。さらに事業年度開始後も、分野別の進捗状況を、部長会議や経営会議の場で確認し、適宜状況判断に応じて、具体的実行計画の追加・修正をする等、相互調整を行っている。	2024年～2028年の中期的計画「Re-Born計画2028」を策定し、新たな専門学校モデルへの再生を図る。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか <input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続を経て改正しているか	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 寄附行為を遵守し適切に遂行している <input type="checkbox"/> 必要な審議を行い、適切に議事録を作成している <input type="checkbox"/> 必要に応じ、適正な手続を経て改正をしている			寄附行為
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 整備している。 <input type="checkbox"/> 整備している。 <input type="checkbox"/> 明確化している <input type="checkbox"/> 明確化している <input type="checkbox"/> 作成している <input type="checkbox"/> 整備している			組織体制 職務分掌 権限基準 各会議議事録

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	<input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか <input type="checkbox"/> 学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組を行っているか	4 4	<input type="checkbox"/> 立案等、適正な手続きを経て改正をしている <input type="checkbox"/> 職員個々のモラルとモチベーションの維持向上に向けた評価制度を設け、運用している			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>組織運営における各部長のマネジメント力、実務能力は必要十分なレベルで、意思決定も、職務分掌、権限基準等で明確であり、必要により経営会議や部長連絡会、立案等で迅速に行っている。</p>	<p>学生募集については、入学相談室を中心に対応を行っているが、高校訪問や校内説明会など、教職員が全体で対応している。また、理事会・評議員会メンバーとも意見交換を活発に行いながら情報共有し取組をすすめている。 令和7年度からの改正私学法に則って、寄附行為を変更予定。</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続について規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか <input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 「職員就業規則」に明記採用基準はもとより、職位・職責等についても明確化し適切に運用している。 <input type="checkbox"/> JTB及びJTBグループと定期的に情報交換の場を持ち、必要な人材が安定的に確保できている <input type="checkbox"/> 「職員給与規程」に明記適切に運用している <input type="checkbox"/> 職群制に基づく職位・職責を明確化し、適切に運用している <input type="checkbox"/> 「職員給与規程」に明確化し、適切に運用している。	新たなツーリズムビジネスに必要な教職員人材の採用 少人数組織・学校特有職種ゆえ、昇任・昇格がやや硬直化している。	JTBグループ出身に拘らない専門分野人材の採用 時代や環境の変化に合わせた新たな人事賃金制度の構築	目標シート 人事評価表 職員就業規則 職員給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事賃金制度については、ダイバーシティの観点より職員個々のライフスタイルに応じた、職種、勤務を可能とし運用している。今後は、個々の更なるモチベーションアップややりがい創出するため、より時代や環境にマッチした人事賃金制度への見直しが検討課題。	多様なツーリズム産業の人材育成に対応する専門学校として、教職員の求められる能力や資質が変化しており、常に先を見据えて教職員の確保を進めるべく、柔軟な勤務や人事運用を展開している。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 教務・財務に限らず、事業運営全般に関し、決裁に至るまでの権限と責任を、関係規程及び権限基準等により明確化している <input type="checkbox"/> またこの意思決定システムは、必要に応じて適宜見直しを図っている			寄附行為 会議規程 立案規程 職務分掌 職務権限基準

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
<p>当校においては、理事会を学校法人運営に関する最終的な意思決定機関、評議員会を諮問機関として位置付け、これを寄附行為にて明確化している。</p> <p>また経営会議を当校自体の意思決定機関として権限基準に明確化しており、同会議の他に毎週開催している部長会議にて最新経営情報を共有しており、役員及び組織運営職者による意思決定の仕組みは確立されている。</p>	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 学内管理-Info Clipper Canbus 会計管理-tomas-kaikei を使用し管理体制を構築 <input type="checkbox"/> 教職員同士の情報提供・情報共有・意思決定については、G-mail、rakumo 等を活用している <input type="checkbox"/> 上記管理システムによる管理の他、一般ソフト利用により、サーバーに蓄積した画像や資料を授業に活用している <input type="checkbox"/> 学生・会計ともにデータは適宜更新し、最新の状態を維持している <input type="checkbox"/> IT専門会社社員が常駐し、セキュリティ体制の強化とシステム監視体制の強化を図っている。	ネットワーク全体の最適化に向けて更なる検討が必要 近年は、新たなコンピューターウイルスの脅威に晒されているため、継続してITセキュリティ体制の強化が必要	可能な範囲から更なるデジタル化の推進を検討 IT専門会社社員の常駐の継続とJTBグループITセクションとの情報共有	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システムに関しては、①業務改善(業務フローの見直し)、②業務効率化(スピード化、簡素化)、③システムの利便性向上、④セキュリティ強化といった各要素が満たされている必要があり、現状は標準以上のレベルは保たれている。今後は、より活用を図り、業務効率化をすすめていきたい。	学内管理システムである Info Clipper のバージョンアップ、クラウド化への移行により学生情報の一元管理および共有が図られた。Infoclipper の更なる活用が期待される。

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、ツーリズム関連事業者や地域との交流が復活し、フィールドワーク、産学連携・地域イベント、国内海外研修などを通しての体験機会や知見拡充に繋がった。また科を跨いだ横断的な取組により、コミュニケーションの向上や学びの相乗効果へ繋がった。</p> <p>1. ICT 教育の深耕による効果的な学習指導の確立「国家資格 IT パスポート対策」は 2 年目を迎え内容の拡充と合わせ、授業レポートを全て cloud 上での提出とし、日常的な IT 基礎力の体得を実現した（他授業でも実施）。シンガポールおよび沖縄研修旅行後の成果発表会を現地とハイブリッドにて開催。関連団体からの講評、また事前研究、事後成果物もデジタルツールを活用するなどスキルの最大化を図った。</p> <p>2. ツーリズム産業の発展に資する新たな知識と人間力向上のためのカリキュラム展開</p> <p>「データマーケティング講座」にて巣鴨信用金庫、地蔵通り商店街協力のもと、「商店街活性化」をテーマとした研究実施。その他 JTB 連携による「地域交流イベント(甲府・千葉大多喜・千葉南房総)」に参加。多くの交流を通して、知見拡大、感性を醸成する機会を創出。また2年生(観光科・ホテル科・訪日科)を対象とした「SDGs×観光まちづくりワークショップ」を実施し、学びの集大成として、社会におけるツーリズムの貢献度ならびに親和性を考察する時間となった。</p>	<p>2023 年度を踏まえた 2024 年度の重点課題</p> <p>【カリキュラム(授業) 戦略方針および重点課題】 <u>多様化するツーリズム産業の第一線かつ社会へ貢献できる人財育成に資するカリキュラムへの展開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからのツーリズム業界での活躍を目指すための最先端かつ高品質なカリキュラムの構築 ・幅広いツーリズム業界に対応する資格取得の奨励強化(国家資格、検定等) ・学生の多様な価値観と適性を見極めたキャリア開発支援の実施 ・JTB グループとしての強みを活かしたリソースの活用及び産学連携への取り組み ・少人数を強みとした柔軟かつ個性的な教育環境の提供及び学生一人ひとりの個性に対応した指導 <p>【キャリア支援 戦略方針および重点課題】 <u>業界の課題解決に貢献できる人財輩出組織への進化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツーリズム産業への幅広くかつ適材適所の人財輩出 ・環境の変化、学生の進路ニーズの多様化に対応したサポート強化 ・学生資質にあった就職支援環境の強化 	<p><国家試験></p> <p>① 観光科合格率:(全国平均の倍を目標) 国内70%以上→結果70%(全国平均35.7%) 総合40%以上→結果20%(全国平均7.9%)</p> <p>② ホテル科ホテルマネジメント技能検定3級合格率 50%以上→結果14.2%</p> <p><就職(日本人)></p> <p>就職希望者内定率2014～2019年度は6年連続100%。2020年度92.1%。2021～23年度100%。</p> <p><就職(留学生)></p> <p>2015年度から2年連続100%。2019年度は3年ぶり100%。2020年度81.8%。2021～23年度100%。</p> <p><特色ある講座></p> <p>① 「ブライダル業界研究」「ホテル業界研究」 業界の最新現場を学ぶとともに、自身のキャリア開発の足掛かりとする。フィールドワークの成果発表、を通して、発信力・プレゼン力を身に付ける。</p> <p><実習・研修の実施状況></p> <p>① 4年振りに海外研修(国際観光ビジネス科、ホテル&ブライダル科2年/シンガポール・台湾)、海外派遣生(学内選抜3名・マレーシア支店、JTB台湾))を実施。海外渡航未経験の学生をはじめ多くの学生が異文化体験や就業体験を通し、新たな人間形成の場となった。</p> <p>② 国際観光ビジネス科2年の企業実習は業界バリューチェーンを意識した1人2箇所派遣を全員に設定。個社業務の理解だけでなく、各社業務連携や繋がりを知り、流通を考える機会創出にもなった。</p>

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	堀口 由美子
--------	----------------	-------	--------

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか 職業教育に関する方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4 4	<input type="checkbox"/> 明確に定めている <input type="checkbox"/> 即戦力となりうる教育課程(カリキュラム)の新設を複数実施した。	観光業界のニーズの変化への柔軟な対応 多様化する社会ニーズに適応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成	ITリテラシー関連授業の拡充とデジタルコミュニケーション力の体得 座学にとどまらないアウトプット機会やフィールドワーク時間の創出	学生ハンドブック シラバス 事業運営計画
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 旅行業・ホテル業の実務・経営を経験した教職員がカリキュラムを毎年検証している <input type="checkbox"/> 全体講師会で学校の方向性を共有している <input type="checkbox"/> 国際観光ビジネス科、ホテル&ブライダル科は全員国家試験への挑戦を義務づけ、また現場での実習を実施している <input type="checkbox"/> 対策授業、補講を年間で計画し、一人一人の到達レベルを検証している。	期中で目標感を喪失してしまう学生の動機づけの修正 資格取得不合格者の原因把握ならびにモチベーションの維持	学生心得の周知とともに、ツーリズム産業に求められる人物像についての理解を促進する。 既存手法に捉われない学生資質に合わせた指導方法の改善	募集パンフレット 学生ハンドブック 時間割(昼間部) 時間割(夜間部) シラバス

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
商業専門士取得とともに、ホスピタリティ、社会常識等を身につけるカリキュラム編成により、即戦力として企業に求められる人物に近づける2カ年間のロードマップを明示し、学生にも社会にも認められ学校づくりを整備している。	学習意欲・就業意欲を個別管理するためクラス担任制と、内定後の2年生のモチベーション維持のための指導方針や他学科との交流授業を強化している。

最終更新日付

2024年6月1日

記載責任者

堀口 由美子

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4 4 4 4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 即戦力を養成する為、業界用の実務科目／専門科目を中心に据え、資格対策・教養科目で脇を固め、2カ年で初期目標の到達を期している。 <input type="checkbox"/> 業界の求める専門性と実務能力の修得に主眼を置く為、に業界出身のエキスパート講師陣を編成し安定的な講義運営と、業界情報を盛り込んだ講義を実施している。 <input type="checkbox"/> 全体講師会・学科別ミーティングを開催し、教育素材の吟味・教授手法の研鑽を積み、効果的な教授法を修得している。議事録を作成し、次年度に反映している。 <input type="checkbox"/> 最終目的である自律型の職業人育成の為、広範な教養を修得させる <input type="checkbox"/> 留学生には交流を通じ、異文化理解促進。各科授業もフィールドワークやプレゼン機会を増やし学びの最大化を図った	<p>入学生の学力レベルの把握とレベルに合わせた授業設定の検討</p> <p>業界最新知見の収集とカリキュラムへの反映</p> <p>学生の少人数化に伴い、既存の授業手法からの脱却ならびに、学生間の競争意識の低下が課題</p>	<p>入学前の一般常識、英語のテストを実施。英語は筆記だけでなく、リスニング・ヒアリングも導入検討し、入学後の早期レベルアップに繋げる。</p> <p>オムニバス講師方式のホスピタリティ講座、クローズアップ講座の更なる改編。</p> <p>担任以外の他講師を含めた校内職員全体で学生のフォロー</p> <p>学生間の切磋琢磨する風土づくりや相互の気づきを促す授業進行ならびに科を跨いだ合同授業の開催による互学互習意識の醸成。</p>	<p>募集パンフレット 学生ハンドブック 時間割 シラバス</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について授業計画(シラバス・コマシラバス)を作成しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> サブ教材の使用や、授業外でも学習できるアプリの活用 <input type="checkbox"/> 担任を通して、適切に指導している <input type="checkbox"/> 作成している <input type="checkbox"/> 授業内容の理解度を確認し適宜見直しを行っている	デジタルを活用した教育環境の整備ならびにハイブリッド授業運営スキルは確立できた。常態化における効果的な運用を探っていく 教職員の ITリテラシーの向上	ICT 推進担当を中心とした課題整理と改善サイクルの循環。 校内勉強会などの検討。	
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4 4 3	<input type="checkbox"/> 在校生には毎年 2 回授業アンケートにて、卒業生は学校評価関係者にて意見聴取をしている。 <input type="checkbox"/> 外部専門家・業界関係者との連携を図り実践教育の効果を検証し、反映している。 <input type="checkbox"/> 定期的な意見聴取には至っていない。	ツーリズム業界は、卒業生も多く、また精通している講師もいるため業界の意見聴取は不定期的にできているが、特に、ブライダル業界、運輸業界については、多面的なヒアリングが必要。 多様化するツーリズム産業界にて求められるスキルに対応したカリキュラム編成	教員全体がツーリズム業界の変化・予測に関する知識を得るための、外部講師招聘や、意見聴取後の共有の機会創出。	学生ハンドブック 時間割
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4 4	<input type="checkbox"/> 方針を定めている <input type="checkbox"/> 企業実習、観光総合演習等キャリア教育のカリキュラムを充実させている	就職先を中心とした企業実習・派遣先の安定的な確保 中期的に職業(就職)を考える視野の醸成	卒業生の協力を得た情報収集(先輩との懇談)や進路ガイダンス授業のブラッシュアップや観光キャリア授業の新設	募集要項 実習報告レポート 時間割

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	<input type="checkbox"/> キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 就職先での状況は就職先の担当者、先輩の卒業生から情報を積極的に入手している			
3-9-4 授業評価を実施しているか	<input type="checkbox"/> 授業評価を実施する体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか <input type="checkbox"/> 授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか <input type="checkbox"/> 教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 期中7月と期末2月の年2回定期見直し時期とする <input type="checkbox"/> 評価内容について関連業界に協力を仰いでいる <input type="checkbox"/> 学生アンケート結果を教員にフィードバックし改善に努めている <input type="checkbox"/> 学生ヒアリングの実施		ネガティブ評価における学生ヒアリングの実施 学校責任者による聴講実施	授業アンケート 授業アンケート集約表 講師指導記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新型コロナウイルス感染5類移行に伴い、フィールドワーク・交流が復活。連携先も昨今の潮流をうけ、産学連携、地域イベントなど、国内をはじめとする多くのツーリズム関連業者ならびに旅行者と接点を持ち、コミュニケーション能力の向上、学びの相乗効果を図ることができた。</p> <p>ツーリズム業界の発展に資する新たな知識・人間力向上に資するカリキュラム展開として、ITリテラシー関連授業の拡充を図るとともに、科を跨いだ合同授業の設定、外部コンテストの参加、他校との交流による成長機会を継続強化していく。</p>	<p>2023年度新設・改訂科目 ・「ブライダル業界研究」「ホテル業界研究」(ホテル&ブライダル科) 新設</p> <p>学科横断による取組 ・「空港見学(フィールドワーク)」 観光科・H&B科・夜間部(全1年生)にて実施 ・「SDGs×観光まちづくりワークショップ」 観光科・H&B科・訪日科(全2年生)にて実施</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定 基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 履修規定第7条、8条に規定し、成績評価は前・後期の年2回実施している。 <input type="checkbox"/> 取得単位、出欠席状況は常に把握している。評価会議で、基準の適正、統一性を行っている。 <input type="checkbox"/> 出席状況は、学生への定期的確認を実施している。 <input type="checkbox"/> 学則第11条に規定し、運用している。	・講師間の同レベルの期末試験作成と評価の実施	・新任の講師には、均質の評価基準で行ってもらうため、着任時のガイダンス実施、全体講師会等での解説実施 ・担任経由で、期末試験未受験者防止策の運用を実施	学生ハンドブック シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 英語スピーチコンテスト、日本語スピーチコンテスト(訪日科)、実習評価(夜間)、皆勤賞等の表彰 <input type="checkbox"/> 旅行パンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 「理想のホテル」「ウェディング」「卒業論文」プレゼン <input type="checkbox"/> （一社）データマーケティング教育推進協会成果発表会	データベースでの蓄積、管理。	ICT推進担当者による環境整備と校内利用推進	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学業成績と出席状況双方とも厳格に運用している。	感染症(インフルエンザ・コロナ等)は継続して「公欠」対応とし体制を整えた。(発熱等の症状は登校禁止。陽性診断書提出による管理)

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4 4	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にし、奨励している <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について前広に明確にしている	国家資格である旅行業務取扱管理者(観光科 1 年生)ならびにホテル・マネジメント技能検定(ホテル科 2 年)をはじめとする各種資格の受験率・合格率向上。	特別対策講座を設置することや、一次試験通過者に対し補講をするなど受験意欲の促進 学科別コース別資格奨励の体制強化	学生必携ハンドブック
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4 4	<input type="checkbox"/> 資格・免許等の指導体制(授業実施など)は整っている <input type="checkbox"/> 在校生に対しては補講体制を整備している	入学生のこれまでの学習環境(背景)を踏まえた指導方法への進化	学生アンケートによる個人別強化ポイントの把握	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
旅行業務取扱管理者資格試験をはじめ、資格取得に向けた目標は、カリキュラム上明確になっており、講師によるサポート体制も充実している。	担任制を敷き、資格取得を奨励するとともに、成績不良等から退学や長期欠席とならないようにサポートしている。また、資格受験を通して、学ぶことの大切さを指導している。資格取得者については、卒業式にて表彰している。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	4	<input type="checkbox"/> 担当科目に必要とされる能力・資質を明確にしている	教員のシニア層が増えており、専任から兼任への計画的なシフトが毎年重要となっている。 学校運営計画にのっとり、今後新たな知識・技術・技能を保有した教員の確保が必要。	計画的な後継者育成と授業聴講の機会創出 新カリキュラム開発と連動した教員の募集、既存教員の新たな知見の習得 JTBグループ出身に拘らない若年層専門分野人材の採用	学生募集要項 教員別、科目・授業時間一覧表
	<input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	4	<input type="checkbox"/> 必要な資格等明確にしている			
	<input type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	4	<input type="checkbox"/> 教職員はすべて業界経験者の為、業務に精通している			
	<input type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか	4	<input type="checkbox"/> 教員は関連業界のOB・OG・JTBグループ出向者・転籍者で組織している			
	<input type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか	4	<input type="checkbox"/> 退職年齢、出向者期限(3年)等、計画的に採用を行っている			
	<input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか	4	<input type="checkbox"/> 専任・非常勤の構成は明示している			
	<input type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	4	<input type="checkbox"/> 明確に定めている			
<input type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 把握している				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 把握・評価し適材適所の配置をしている <input type="checkbox"/> 常勤職員へ東専各主催研修ならびに JTB グループ、外部セミナーへの研修機会を設けている <input type="checkbox"/> 教職員は関連業界(出身母体)と常に連携をとり業界の動向を把握している <input type="checkbox"/> 支援している	常勤講師の指導力及び教員としての技能のレベルアップ	既存の自己啓発コンテンツ以外の新しいツールズに必要な“学びコンテンツ”の検討 相互聴講の奨励 学生アンケートから不平・要望を抽出し、不満解消とともに教員の指導改善につなげる。	授業アンケート 授業アンケート集約表
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)教員間の連携・協力体制を構築しているか	4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> JTB の幅広い事業分野からバランスよく人材を確保し、専門分野に偏りが出ないよう配慮している <input type="checkbox"/> 定めている <input type="checkbox"/> 外部専門講師については業界団体・協会の推薦を中心に、前任者に推挙願っている <input type="checkbox"/> 毎週水曜日の教務部会において情報共有と諸課題検討を図っている <input type="checkbox"/> 3月の常勤・非常勤講師による全体講師会及び分科会にて情報共有と諸課題検討を実施している	専門講師契約長期化に伴う一部授業内容・手法の硬直化 ツールズ業界のマーケット変化に即したタイムリーな授業内容の実施と把握	学校方針の正確な伝達と分科会による理解浸透と学校側による聴講、授業アンケートによる改善とともに、新任職員採用による人の循環を図る 各分野に精通した講師の採用の検討	授業アンケート 全体講師会資料

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
講師の授業評価とレベルアップの仕組みは、より一層充実させる必要がある。またマーケットに即応できる新たな知見の習得は今後の課題。	授業レポートを全て cloud 上で提出させるなど、デジタル上で学生とのやりとりを管理する手法を実施。一部講師だけでなく、全体活用を今後目指していく。

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																																																																				
<p>教育目標は、</p> <p>① ツーリズム業界に就職するために必須の知識・スキルの取得</p> <p>② 知識・スキルの証としての資格試験の合格</p> <p>③ 合格に向けて学習・努力する集中力と持続力の開発</p> <p>④ 十分な業界研究に基づいての、あふれる就職・就業意欲の醸成</p> <p>①②は、国内旅行業務取扱管理者は全国結果を上回ったものの、目標合格率は未達。総合は全国平均 2 倍を達成できたが目標である 40%は残念ながら未達。国家資格「ホテルマネジメント技能検定」は 2 年振りに合格者 1 名輩出。</p> <p>④マーケットの回復と企業の早期囲い込みによる早いスタートもあり、3 年連続就職内定率 100%を達成。開校以来 29 年間連続希望者就職率 100%、30 年目 99.3%、31～33 年目 100%、34 年目 99.5%、35～39 年目 100%、40 年目 92.1%、41 年目 100%（留学生除く）</p> <p>課題としては、学生減に伴う JTB グループ外(広義のツーリズム産業)の安定的な就職先企業との関係継続と職種拡大及び卒業生の各企業での継続的な活躍である。</p>	<p>対面授業を基本としながらも、デジタルネイティブ世代の学生反応や、個人の資質・理解度に合わせた指導や手法を実践していく。</p> <p>JTB グループ以外の旅行業界、ホテル・ブライダル業界、宿泊・レストラン業界、鉄道業界、空港関連業務等の業界とも連携、コミュニケーションを強化することによって就職先企業の安定的確保を図る。</p> <p>主な就職先企業と連携し、内定後の目標設定・教育及び卒業生の就職後のフォローアップを出来る限り図る。</p>	<p style="text-align: center;">＜資格取得者の推移＞</p> <p style="text-align: right;">[単位:人]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資格</th> <th colspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2022</th> <th rowspan="2">2021</th> <th rowspan="2">2020</th> </tr> <tr> <th>2023</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合旅行業務取扱管理者</td> <td>4</td> <td>▲ 15</td> <td>19</td> <td>29</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>国内旅行業務取扱管理者</td> <td>14</td> <td>▲ 6</td> <td>20</td> <td>57</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>ホテルマネジメント技能検定</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定2級</td> <td>0</td> <td>▲ 2</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>パソコン2級</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>27</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定3級</td> <td>3</td> <td>▲ 10</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>秘書検定2級</td> <td>1</td> <td>▲ 3</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>旅のユニバーサルデザインアドバイザー</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>71</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>レストランサービス技能検定3級</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">＜2023 年度就職先＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者就職率=100%(日本人 100%、留学生 100%) ・観光業界への就職率(専門就職率)=97.1% ・JTB グループの就職率=38.2% ・旅行業界就職者のうち、JTB グループ就職者=92.8% <p>大学編入希望者は不在だったが、指定校推薦の東洋大学国際観光学部との関係継続は図っていく。</p> <p style="text-align: center;">＜卒業生の活躍状況＞</p> <p>JTB グループ会社をはじめとする多くの企業で、中堅・若手社員として活躍中、留学生においては、JTB 海外支店にも輩出している。設立 41 年がたち、部長職を筆頭に、管理職者も輩出している。大学編入生の就職先も把握している。</p>	資格	年度		2022	2021	2020	2023	増減	総合旅行業務取扱管理者	4	▲ 15	19	29	114	国内旅行業務取扱管理者	14	▲ 6	20	57	79	ホテルマネジメント技能検定	1	1	0	8	7	実用英語技能検定2級	0	▲ 2	2	7	5	パソコン2級	12	0	12	27	14	ビジネス能力検定3級	3	▲ 10	13	5	29	秘書検定2級	1	▲ 3	4	9	12	旅のユニバーサルデザインアドバイザー	18	0	18	71	116	レストランサービス技能検定3級	3	0	3	16	16	ブライダルコーディネート技能検定	4	1	3	16	8
資格	年度			2022	2021				2020																																																													
	2023	増減																																																																				
総合旅行業務取扱管理者	4	▲ 15	19	29	114																																																																	
国内旅行業務取扱管理者	14	▲ 6	20	57	79																																																																	
ホテルマネジメント技能検定	1	1	0	8	7																																																																	
実用英語技能検定2級	0	▲ 2	2	7	5																																																																	
パソコン2級	12	0	12	27	14																																																																	
ビジネス能力検定3級	3	▲ 10	13	5	29																																																																	
秘書検定2級	1	▲ 3	4	9	12																																																																	
旅のユニバーサルデザインアドバイザー	18	0	18	71	116																																																																	
レストランサービス技能検定3級	3	0	3	16	16																																																																	
ブライダルコーディネート技能検定	4	1	3	16	8																																																																	

最終更新日付

2024 年 6 月 1 日

記載責任者

堀口 由美子

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか	4	<input type="checkbox"/> 希望者就職率 100%	マーケット回復により求人復活は見られたものの、属人的に意思・希望職種が定まらず就職活動の長期化が見られた。 広義のツーリズム産業企業の新規開拓も必要となる。	学生の多様化にあわせたツーリズム産業ならびに他業界研究や自己分析指導の継続。 学外説明会、インターシップの積極的参加促進 ならびに就職関連サイト、ハローワークなど幅広に選択に向けたガイダンス強化 オンライン面接の一般化に伴う実践的な面接指導の実施	2023 内定状況一覧
	<input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 「進路指導室」と担任を主体に、学生の個別指導を徹底し、就職活動及び就職状況を綿密に把握している			
	<input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 関連業界と十分な連携をとり、学内企業説明会を実施している。			
	<input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	4	<input type="checkbox"/> 適切に管理している			
	<input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>マーケット回復による売り手市場により3年連続、日本人・留学生ともに就職希望者の内定率が100%となった。回復に伴う企業からの積極的な求人と学生減による応募数の乖離が苦しい一年であった。</p> <p>オンライン面接の一般化に伴い、面接訓練にオンラインを継続実施。面接内容に加え、目線・うなずき・相手からの見え方などオンライン独自の指導も強化。</p>	<p>2017年度の留学生の内定率は98.3% (58名中57名内定) 2018年度の留学生は97.9% (47名中46名内定) 2019年度の留学生は100% (42名) 2020年度の留学生は81.8% (27名) 2021年度～23年度の留学生は100% (21年度32名、22年度11名、23年度9名) 文化の違いなどダイバーシティ観点での就職活動サポート、理解が必要。</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	4	<input type="checkbox"/> 目標とする資格は、カリキュラム(履修課程)として明確に定めている。「学生必携ハンドブック」にも明記している	旅行業務取扱管理者試験の変化する出題傾向への対応	過去問の徹底分析や関連ルールの改正に修正したサブ教科書、過去問の作成と教科書作成会社(JTB 総合研究所)との情報共有	学生必携ハンドブック 時間割 特別対策授業時間割
	<input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか	4	<input type="checkbox"/> 夏季特別講習・直前対策講習にて旅行取扱管理者資格取得の為にプログラムを設定している	旅行業務取扱管理者試験以外の資格試験受験者数増と合格率アップ	学生への意識付けの徹底と補講の充実	
	<input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較などを行っているか	4	<input type="checkbox"/> 比較は常に行っている	学生それぞれの不得手科目と特性に合わせた個別指導	アンケート等を活用した、具体的かつ、明確な弱みの洗い出しと徹底指導	
	<input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 毎年実績の成果と反省を行い教職員全体で取組み方法の改善を検討している			

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
資格取得については、①変化する出題傾向への対応、②授業内テスト平均点の低下傾向から、学生への個々人に合わせた個別対応指導を実施。	総合旅行業務取扱管理者、レストランサービス技能検定、ブライダルコーティネート技能検定、ホテル・マネジメント技能検定については、すべての合格者氏名を校内に掲出し、当校入学希望者への入学促進にも役立っている。(入学希望の強い動機付けになっている)

最終更新日付

2024年6月1日

記載責任者

堀口 由美子

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	<p>3</p> <p>2</p>	<input type="checkbox"/> 主な就職先企業とは常にコミュニケーションを取り、卒業生の動向についても情報共有している <input type="checkbox"/> 同窓会、卒業生ネットワークを通じた情報収集ができています	中長期的な観点での定量的な情報の収集 ※JTB グループでの卒業生情報はほぼ入手できているが、JTB グループ外での情報入手が困難。	同窓会活動の一環として、学内トピックス一斉メール配信による卒業生からのフィードバックの蓄積ならびに元担任と卒業生とのネットワークからの情報収集。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会事務局へ最新情報を寄せられる卒業生の把握は徐々に蓄積されている。また、卒業間もない若手卒業生については、進路ガイダンスへの出講依頼により把握ができています。	オープンキャンパス体験授業協力企業(バス、ホテル、空港、店舗など)で卒業生をアサイン。活躍する姿として学校広宣で協働が図れている。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校に対する学生と保護者の期待は、第一義的には就職支援であり、さらに、社会に出るための社会人基礎能力を身につけさせることである。当校の希望就職率ほぼ 100%の継続(3 年連続)は、期待に応えるだけの支援体制ができていると考える。</p> <p>また学生の生活支援については、クラス担任制、保健室体制、奨学金相談体制など、学校規模に則し可能な体制を整備し、効果を上げている。</p> <p>保護者との連携も必要な時点で随時クラス担任と教務部長・校長が行っている。</p> <p>留学生の支援体制についても、出入国管理法令の遵守を大前提とした生活指導・支援ならびにクラス担任による個別相談体制の整備に力を注いでいる。また、旅行・宿泊の実務のみならず ITリテラシー等科目を充実させ、就職先の幅の拡大に取組実績を上げている。</p> <p>今後の課題は多様化するツーリズム産業界の幅広い就職先確保、退学率低減、学生のモチベーションの維持に対する体制である。</p>	<p>JTB グループを中心とした優良な就職先企業の留学生を含めた当校採用枠の継続とともに、グループ外企業へのアプローチにより幅広くツーリズム産業界への採用を創出すべく営業活動の強化を図る。</p> <p>ツーリズム産業以外の業界にも目を向ける指導や、学生の進路ニーズ、例えば大学進学、転入も視野に入れた多様化に対応した進路指導を実施する。</p> <p>家庭が経済的に不安定なため就学継続が困難な学生のための奨学金活用促進を図る。</p> <p>生活習慣の改善やメンタル面の悩みの解消・低減を必要とする学生に対しても、クラス担任及び保健師を中心に教職員全員が相談相手となり、継続的に学生生活を送ることができる体制を強化する。</p>	<p><就職支援></p> <ol style="list-style-type: none"> ①希望企業への就職を実現するための密度の濃い対策カリキュラム ②正規カリキュラム外の多くの特別講座(企業説明会、企業訪問、卒業生による就職ミニガイダンス等) ③クラス担任を中心とするキャリア個別面談 ④企業の面接官経験のある教職員による「採用面接直前チェック」など、支援体制は整っている。 <p><学生相談体制></p> <p>健康状態、欠席状況などについて、必要に応じクラス担任・教務部長・校長・保健師が保護者&学生と面談し相談・支援・指導を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①入学内定者全員に対する入学前オリエンテーション ②週一回設定のグループ・アクティビティ(ホームルーム活動) ③必要に応じた個別面談などにより、校長・教務部長・クラス担任・学生課長が情報を共有して直接相談・指導を行っている。 <p><留学生支援体制></p> <p>在学期間中の出席率と留学 VISA(資格外活動含む)の厳格かつ適正な管理を行っている。また、卒業後の就労 VISA 取得も把握している。</p> <p><卒業生相談体制></p> <p>転職相談などアプローチのあった卒業生に対して、クラス担任、進路指導室を中心に個別に行っている。</p>

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	堀口 由美子
--------	----------------	-------	--------

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する 支援組織体制を整備 しているか	<input type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか <input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか <input type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか <input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4 4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> クラス担任制と進路指導室を設けて支援体制を敷いている <input type="checkbox"/> 常に連携を密にしている <input type="checkbox"/> 就職状況については常に情報共有し、未内定者への対策も講じている <input type="checkbox"/> 関連業界とは常に連携を取っている <input type="checkbox"/> JTB グループをはじめ主な企業の就職説明会は学内で行っている <input type="checkbox"/> 就職指導のカリキュラムに盛り込んでいる <input type="checkbox"/> 個別相談は常時行っている	就職先企業の当校採用枠の維持拡大と新規開拓 ツーリズム産業以外の就職支援手法	就職先企業とのコミュニケーション強化 ツーリズム産業界全体の恒常的な就職先情報収集 ハローワーク等外部就職支援先との連携 社会との接点が限界傾向にある学生に対する面接力・人間力アップ	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
マーケット復活により求人を選択肢も回復、幅広い業界研究や自己分析指導も強化。オンライン面接も一般化し、選考動向に合わせた実践的な面接指導も実施してきた。	<ul style="list-style-type: none"> 読解力、思考力等「社会人基礎力」の向上を目的として、読書レポートを継続実施。継続力、また心の豊かさでもある「想像力」の養成にも繋がった。 大学編入選択者には就職同様、選択肢の一つとして強化していく。 学生価値観の多様化に対応する業界以外の就職先支援

最終更新日付

2024年6月1日

記載責任者

堀口 由美子

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか <input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか <input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 週 1 回の部長連絡会（経営会議含む）にて、中途退学の把握を行っている。13 年連続目標範囲内（学校目標 10%） <input type="checkbox"/> 上記会議にて「学生動向」シートにて共有。 <input type="checkbox"/> 担任、教務部長、校長での連携で判断している。 <input type="checkbox"/> 学生の抱える事情が違うため低減には限界があるが、担任を中心に指導している。	2023 年度は退学率 6.3%（2022 年度 8.2%）、と前年に比べ減少。退学理由は多岐にわたり、一人ひとり丁寧な対応は今後も必要。	入学後アンケートによる学生状況の早期把握 奨学金対応 保健師対応強化 担任による徹底フォロー 短期目線ではなく、中長期目線での本業界の成長戦略の明示	学科別退学者 3 カ年推移

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任制による密着度ある指導と、メンタル面では、保健師のプライバシー保護のもと、学生と対話は重ねていく。 2020 年度 7.3%→2021年度 2.3%→2022 年度 8.2%→2023 年度 6.3%	1 年次、急激な環境変化によるメンタル不調や入学時における曖昧な目標設定、人間関係等の理由から、早期からの不登校ケースや、観光科は1年次の国家試験不合格からの目標喪失による退学のケースがある。国家試験対策や担任・保健師との複数回の面談において、2 年間の目標設定を掲げ、退学低下につなげている。

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	堀口 由美子
--------	----------------	-------	--------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか	4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 整備されている ①クラス担任制(全ての窓口は担任) ②進路指導室 ③保健師健康相談 ④奨学金相談窓口 ⑤授業料納入遅延相談 ⑥進路変更・休学・中退相談 <input type="checkbox"/> 記録は保持し状況により閲覧者を限定し開示している <input type="checkbox"/> 学校医との連携を図っている	メンタル既往歴、家族関係など背景が多岐かつ複雑化している。	担任面談と学生アンケートによる学生状況の早期把握、早期対処。保健師との連携。	月次保健師相談記録 学生動向記録 身上書
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 留学生の学科にもクラス担任制を敷いている <input type="checkbox"/> クラス担任が在籍管理を適切に行っている <input type="checkbox"/> 日本人学生と同様の就職支援に加えて就活のための日本語指導を行っている <input type="checkbox"/> 指導記録は適切に保管している	様々な背景と価値観をもった留学生へのグローバル感覚を持った対処 最終帰国日の「帰国報告書」入手に時間を要する場合あり 卒業後も未内定者には特定活動ビザ取得のための支援を継続している。	担任面談と学生アンケートによる学生状況の早期把握。職員の各国の慣習等多様性への正しい理解。 就労ビザ取得については、12月早々から手続き着手とともに、ケースによっては行政書士に協力を得て、4月就労に間に合うように手続きを完了させる	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生の事情が多様化しているため、一人ひとりに十分な時間での個別面談が必要となっている。	・基本的には担任制による個別指導、保健師による心身サポートにより、退学をとどまる学生もいるが、保護者の協力も不可欠で適切な時期に三者面談を実施し、軽減に努めたい。

最終更新日付

2024年6月1日

記載責任者

堀口 由美子

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面 に対する支援体制を 整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を 整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制 度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時、及び 家計急変時等に対応する支 援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の 利用について学生・保護者 に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経 済的支援制度に関する相談 に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の 利用について実績を把握し ているか	<p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度 は留学生に対してのみ整 備しており、日本人学生に 対しては、JASSOや財団 の制度を紹介している <input type="checkbox"/> 分割納付制度は整備、 減免制度は原則無いが、 実情により延納などの対 応を図っている <input type="checkbox"/> 学校独自のものは無い が、国の支援制度を活用 し運用を図っている <input type="checkbox"/> 十分に情報提供を行っ ている <input type="checkbox"/> 説明会開催時や入学 後も、支援制度に関する 学生の相談に適切に対応 している <input type="checkbox"/> 実績は把握できている	2020年度より高等無償 化の制度が導入され、対 象校として認定されたこと により、学校独自の制度を 整備するのではなく、この 制度を広く紹介することで 学生への経済的支援を図 ることとしてきたが、機関 要件の厳格化により、202 4年度より認定不可となる 見込み (直近3年間の定員充足 率50%以上が必要)	学校独自の奨学金制度に ついての検討 学費減免については、国 の支援制度を活用し、広く 紹介していく。	
5-19-2 学生の健康管理を行 う体制を整備してい るか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めてい るか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員 を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して 記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診につい て適切に対応しているか	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 定めている <input type="checkbox"/> 選任している⇒アーバ ンハイツクリニック <input type="checkbox"/> 保健室を整備し、保健 師が週2日間駐在 <input type="checkbox"/> 健康診断は学校医にて 毎年実施し、記録を保管 <input type="checkbox"/> 適切に対応している			

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 保健師からの健康管理情報を発信している <input type="checkbox"/> 保健室に週2日間駐在する保健師が相談に対応 <input type="checkbox"/> 症状に応じて近隣の医療機関と連携している	感染予防の徹底継続	保健師を中心に感染予防指導を再徹底していく。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	3	<input type="checkbox"/> 学生寮は整備していない <input type="checkbox"/> 遠隔地出身者に対し、募集要項の中でも優良な学生会館を紹介し、優先入居可能であることを伝えている		時代背景や維持費の効率性を鑑み、学生寮の独自保有は不要と判断	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	3	<input type="checkbox"/> クラブ活動自体を行っていない。 <input type="checkbox"/> 課外活動としては、クリーンアップ活動や地元の盆踊り大会等、地元行事に参加し地域住民との交流を行っていたが、コロナ感染状況により中止となっている		高品質な教育の実践を重点課題とし、授業カリキュラム及び関連行事の充実を最優先に学校運営を行っており、在学期間、学校設備等を客観的に判断すると、本格的なクラブ活動は不要と考えている	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的支援、健康管理、課外活動支援等、学生生活の更なる充実化に向けた支援体制については、可能な範囲で今後も前向きに検討していきたい。	2024年度入学生までは高等学校無償化に伴う修学支援金対応が可能。感染症予防は継続して徹底を図っていく。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 必要に応じ適切な連携を図っている ①保護者個別面談(欠席頻発、単位不足、健康不安、コミュニケーション能力、経済問題学生) ②学校短信(年3回発行)と成績表送付(保護者との通信欄あり) <input type="checkbox"/> 保護者等の連絡先は確認をしている	家庭環境の多様化と保護者連絡体制の複雑化 私生活への関り方	早期の保護者を巻き込んだ三者連携のサポート体制	学校短信【8月・12月・3月】 成績表(通信欄あり) 注意・警告書面 保護者からの感謝書面

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>一部の保護者については、「子供に任せている」という姿勢をとっていることから、問題のある学生の指導に有効な協力を引き出せない場合がある。他方、学校が仲介することにより、親子のコミュニケーションが復活するケースもあり、負担は大きいが連携を模索してゆく必要がある。</p>	<p>片親、共働きの保護者もおおり、日中の保護者との連絡が困難になっている。学校側からの連絡に反応のない保護者の存在により、生徒を含めコンタクトが困難になるケースも存在している。</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4 4 3 3	<input type="checkbox"/> 同窓会事務局を設置し、卒業生動向を把握している。 <input type="checkbox"/> 進路担当・担任を中心に適宜対応している <input type="checkbox"/> 講座等は開講していない <input type="checkbox"/> 研究活動ではないが、業務上の相談のあった場合、対応している。	同窓会組織の活性化 ・卒業生にとってベネフィットのある活動 ・在校生と卒業生を繋ぐ活動	38期生より卒業生委員を新設した。学年別同窓会を検討する。	同窓会規約
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	1 1	<input type="checkbox"/> 学校の方針として実施していない			
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	4 4 3 3	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の就学に関しては「附帯教育」として学則に定めている。 <input type="checkbox"/> 長期履修制度は導入していないが、社会人学生の入学は可能である <input type="checkbox"/> 図書室、実習室、PC教室は 21 時までの利用が可能 <input type="checkbox"/> 実施している			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>約 8,000 名の卒業生に対し、最新連絡先(保有メール) 1,700 件。卒業生動向、連絡先メンテナンスを継続実施中。</p>	<p>・卒業生支援として、中途採用情報をホームページに継続掲載。コロナ禍で就職苦戦をした学生が、数年経過後相談に来校するケースもあり。情報提供と相談体制を今後も継続していく</p>

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	堀口 由美子
--------	----------------	-------	--------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育設備に関し、実習室(ホテル・旅行)は質的に十分とは言い難いが、学内での講義・実習と学外での企業実習とを効率的に組み合わせることにより、関連業界の実態を踏まえた実践的な教育を行っている。</p> <p>学生ホール等、その他設備は充実されており、特にパソコン教室は有数のものと自負している。</p> <p>さらに、教育環境基盤として、教室のインターネット環境や電子黒板、短焦点プロジェクターの導入等、ビジュアル活用に力点を置いた設備の充実を図っている。</p> <p>学外実習、インターンシップ、国内・海外研修は、教育課程上の位置づけを明確にし、充実させている。</p> <p>学外実習については、JTB グループ会社及び企業の受け入れが復活した。</p> <p>災害やその他の事情等により学校へ登校できなくても授業を受けられるようITシステムを活用したオンライン授業等についても対応が整いつつある。講師陣も経験を重ねることにより習熟してきた。今後はハイブリット型の授業も視野に入れ、更にデジタルを活用した環境整備に取り組んでいく。</p>	<p>教育設備・環境等に関しては、左記のとおり、充実化を進めてきているが、今後の課題としては以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エレベーターやトイレの問題等、現状の構造・設備のままでは、障がい者対応は難しく、将来的な学校設備のバリアフリー化や代替策についての検討を継続的に行う必要がある。 2. 今後も充実した学外実習や研修を継続すべく、実習先・研修先となる関連企業の維持拡大が必要である。 3. PC ソフトウェアに関しては、JTB グループで活用している予約端末の教育用システムを導入するなど、ホテル予約システムや航空予約システム等の実践的システムを整備しているが、システムのバージョンアップに随時対応する必要がある。 	<p><学外研修等について(通常期)></p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際観光ビジネス科 教室での座学と合わせ、JTB 支店・空港等の見学、4～6 週間支店実習など、JTBグループならではの実践的プログラムがある。 ●国際ホテル&ブライダル科 教室での座学と合わせ、実習室での実技訓練、ホテル見学、ブライダル会社での実習講義、2 か月×2 回のホテルインターンシップがある。 ●共通プログラム 選抜制による、約3週間の海外派遣研修員制度を設けている。 ●夜間部デュアル科 主に JTB グループ会社の理解と協力を得て、学生の企業実習目的も含め、昼間のアルバイト先を斡旋している。

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料		
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	4	<input type="checkbox"/> 定員に対する教室等の施設・設備は適正レベル	新刊補充の充実	図書予算の拡充			
	<input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	4	<input type="checkbox"/> 図書室、PC 教室の他、旅行・ホテル実務の実習室を整備している。					
	<input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	4	<input type="checkbox"/> 旅行専門図書、旅行ガイドブックを取り揃えている。					
	<input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	4	<input type="checkbox"/> 教室・実習室以外は学生ホールのみ。	玄関のスロープやトイレについては、障がい者対応になっていない	現在は、構造上難しいため、人手を介した対応 今後、玄関・トイレなど一部についてバリアフリー化を検討			
	<input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	3	<input type="checkbox"/> 車椅子での移動が必要な場合は、エレベーターの使用が可能					
	<input type="checkbox"/> 手洗い設備等学校施設内の衛生管理を徹底しているか	4	<input type="checkbox"/> 除菌や換気の徹底を図っている。					
	<input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか	4	<input type="checkbox"/> 希望に応じて、提供している。					
	<input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	4	<input type="checkbox"/> 設備管理、点検については、適切に対応できている				外壁修繕・空調設備改修・廊下カーペット貼替を実施済 館内 WIFI も整備し、生徒使用を可とした。	中長期修繕計画を策定し実施予定 (PC 教室、ホテル実習室など)
	<input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	<input type="checkbox"/> JT B グループ会社と密な連携を取り、計画的な設備投資、補修工事を進めている					

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>現在の校舎は1986年に竣工し、37年が経過する中で概ね順調にメンテナンスを行ってきている。</p> <p>今後も JTB アセットマネジメント等と密な連携をとりながら、中長期のレンジでの設備投資、補修計画を立て、学校としての優先順位を定め、適切に実行していくこととしたい。</p>	<p>2024年1月より、大きな学校改革にむけた横断的な検討プロジェクト(カレッジ再生プロジェクト)を立ち上げ、その中での重要なテーマとして、老朽化した施設及びインフラの整備・充実化を検討している。</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	4 4 4 4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 学習指導要項のカリキュラム内容にて明確にしている <input type="checkbox"/> 事前教育にて徹底している <input type="checkbox"/> 旅行、宿泊業界での実習を行っている(内定企業含む) <input type="checkbox"/> 実習箇所からの評価をもとに指導 <input type="checkbox"/> 事前協議の上、出発前オリエンや入電など実施 <input type="checkbox"/> 実習箇所と実習ノート手交や、振り返りミーティングを実施。 <input type="checkbox"/> 行事ごとに担当を決め、積極的に参加させている。 SNS 委員を初設定 <input type="checkbox"/> HP、保護者向け学校短信、地元町内会への連絡等で案内している	ツーリズム業界の幅広さを学ぶ旅行、宿泊業界以外のあらたな実習先の開拓。 教育効果を高めるため、研修旅行事前学習～実施中～事後の一連のストーリー設計が必要。 海外自費留学への参加意欲の醸成。	JTB グループはじめ関連事業社からの情報収集によるネットワークの活用 現在のツーリズム業界に沿った事前テーマ選定、連動した成果物とアウトプットの場の計画的な設定 機運の醸成のため告知時期の再検討、動機づけの時間の確保。	夜間部企業実習レポート 研修報告書 海外派遣生レポート 企業実習ノート

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
海外研修(観光科・HB 科)、海外支店実習(選抜制)が4年振りに復活。海外旅行初体験の学生をはじめ多くの学生が直接異文化に触れる、視野拡大の機会となった。	・海外自費留学(AUS,NZ)も4年振りに設定したが、希望者なし。告知タイミング、動機付けなど再検討が必要。 ・企業実習(観光科2年)は業界バリューチェーンを意識した1人2箇所派遣を実施。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか	4	<input type="checkbox"/> 災害発生時の具体的な行動マニュアルを整備している。	首都圏直下型地震の発生、これに伴う大津波や大火災、大規模テロの発生等、レベル A の災害を想定した安否確認訓練を繰り返し実施しているが、対応マニュアルや BCP の定期的な見直しが必要 訓練の効果を持続し、不測の事態に適切に対応できる体制の構築、及び教職員の危機管理意識の強化は継続課題	リスクマネジメント委員会を中心として、全校における危機管理体制強化を図り、全教職員を対象に、様々な発生リスクに対する危機管理意識の向上に努める BCP、災害対策マニュアルをリニューアルし、定期的な訓練の実施等により、危機管理意識を高める。 学校独自での反復訓練を行って意識強化を図り、瞬時に対応できる体制をつくる。	災害発生時の緊急対応マニュアル
	<input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか	4	<input type="checkbox"/> 校舎は1986年竣工で耐震化に対応している			
	<input type="checkbox"/> 消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか	4	<input type="checkbox"/> JTB グループのメンテナンス会社にて対応している			
	<input type="checkbox"/> 防災(消防)訓練を定期的実施し、記録を保存しているか	4	<input type="checkbox"/> 年 1 回定期的に実施し記録も保存している			
	<input type="checkbox"/> 備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか	4	<input type="checkbox"/> PC、TV 等の転倒防止措置を施している			
	<input type="checkbox"/> 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 教職員・学生全員を対象とした安否確認訓練、及び避難訓練を実施している。			
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか	4	<input type="checkbox"/> 策定している			
	<input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか	4	<input type="checkbox"/> 防犯カメラ(21 個所)による監視・記録を実施している。又、夜間時の正面入り口施錠を実施している。			

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	<p>4</p> <p>—</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 特別な対応マニュアルは作成していないが、教職員間での個別対応として適切に運用している <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 学外実習時は基本的にクラス担任が責任をもって安全管理に努めており、学校本部との間で緊急連絡体制を敷いている		授業中のみに特化したマニュアルでは無く、「災害発生時の緊急対応マニュアル」を基本として、適切に運用を図っている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>防災に関しては、地震対策マニュアルの作成、教職員・学生連絡体制の整備、備品・備蓄品等の整備等により、一定の備えはできているものの、有事においては、瞬時に的確な判断を行い、適切な行動をとらなければならないことから、全教職員の更なる危機管理意識レベルの向上と、防災訓練内容の更なる充実が必要と考えている。このため、全教職員・学生を併せた緊急連絡体制の再確認、及び安否確認や避難訓練を繰り返し行っていきたい。</p>	<p>引き続き感染症への対応についても、災害対応と同様に対応していく必要がある。</p>

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策（実施策）	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																				
<p>コロナ禍を機に高校生とツーリズム産業との接点減少、少子化、本格的な全入時代到来など、外部環境の厳しさが続く中、受験生の関心度を高める募集活動を学校最優先事項として実施したが、予想以上に困難を極めた。</p> <p>募集強化策として、新規取組を実施</p> <p>1.オープンキャンパス(校内説明会)参加者誘引を主要 KPI とする「入学者増員プロモーション」 ツーリズム産業の領域の広さを告知するための仕事紹介動画や卒業生活躍動画を作成。また外部コンサルによる SNS 刷新や WEB 広告の加重実施など、主たるターゲットとなる高校生の業界の仕事イメージ拡大ならびにコミュニケーションツール(SNS)を活用した認知向上に努めた。</p> <p>2.講師連携による3つの横断プロジェクト 「広報戦略」「営業強化」「学校説明会」の3プロジェクトを発足。SNS アカウント刷新ならびに HP への導線強化や、JTBと連携した広宣活動、留学生向けには日本語学校メルマガ配信、母国語での学校紹介記事配信など多岐にわたり募集強化を図った。</p> <p>次年度課題と活動展開 分析データを活用した効率的、効果的な営業の実施 マーケティングに基づいた魅力ある学校WEB広報の強化</p>	<p>2023 年度を踏まえた 2024 年度課題と活動展開</p> <p><u>マーケティング思考に基づいた募集活動と迅速なPDCA サイクルの実践</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット精度向上のためのデータ蓄積と整備 ・JTCの認知向上、説明会誘引のためのSNS、WEB 広報の強化と効果的かつ効率的な営業への進化 ・ツーリズムの仕事が体感できるオープンキャンパスの実施 ・出願率向上のためのフォローのフォロー強化 <p><u>カレッジ再生プロジェクト</u> 既存コースの募集に関する施策 (日本人高卒生・既卒生・留学生)</p> <p>取組事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場調査分析とターゲット設定 ・募集状況管理の徹底 ・WEB広告強化 ・進学フェア強化 ・オープンキャンパス参加促進と内容見直し 	<p><学校の特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開校以来 41年間、希望就職率 99.8% (観光・旅行・ホテル・ブライダル業界 95.3%) ・総合旅行業務取扱管理者資格合格率 (全国平均の約 2.5 倍/2023 年度実績) ・JTB グループ就職率 45%(41年間累計) <p><入学者数の推移> 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="1435 584 2098 791"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2024</th> <th>増減</th> <th>2023</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本人</td> <td>21</td> <td>▲3</td> <td>24</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>留学生</td> <td>20</td> <td>+16</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>41</td> <td>+13</td> <td>28</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p><2023 年度その他状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光ビジネスデュアル科、期中で今後の募集推移を鑑み募集停止。 ・留学生向け説明会を新設(4回実施) 	年度	2024	増減	2023	2022	日本人	21	▲3	24	34	留学生	20	+16	4	10	計	41	+13	28	44
年度	2024	増減	2023	2022																		
日本人	21	▲3	24	34																		
留学生	20	+16	4	10																		
計	41	+13	28	44																		

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	坂本 友理
--------	----------------	-------	-------

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 高校進路ガイダンス、会場ガイダンスを通じ情報提供、入学説明会を実施している <input type="checkbox"/> 高校を個別訪問し、説明を行っている <input type="checkbox"/> 志願者・保護者・教員がわかり易く見易いように学校案内を作成している	高校主催ガイダンスや会場開催ガイダンスを通じ、情報提供を実施しているが、旅行・観光希望者が集まらず催行中止となるケースは23年度も存在。	高校職員を対象とした業界不安払しょくのための情報発信。 進路情報誌やWEBの活用。	学校案内 学生募集要項 ホームページ SNS
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 適切な受付開始時期を設けている <input type="checkbox"/> 自主規制に準じた募集活動を実施している <input type="checkbox"/> 専門部署の入学相談室を設置し適切に対応している <input type="checkbox"/> 教育活動、就職状況、企業実習その他行事等正確に伝えている <input type="checkbox"/> 情報管理の徹底を図っている	教育活動、就職状況、企業実習等の内容を具体的にわかりやすく紹介しているが、説明会参加人数や希望コースにあわせた柔軟な対応に課題がある。	参加者人数や志望コースにあわせて、対話型・ニーズを聞き出す運営を行う。 LINE等を活用し気軽に質問できる環境を準備。	学校案内 学生募集要項 ホームページ SNS

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4 4	<input type="checkbox"/> 年間スケジュールを前広に広報するとともに実施内容の充実を図っている <input type="checkbox"/> 特待生、推薦、AO 入試等多様な選考方法を取り入れている	オープンキャンパスの告知が参加者ベネフィット目線で展開できていない。	前広に実施内容を計画、決定することで具体的な魅せ方へつなげる	ホームページ 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新型コロナウイルス感染症の長期化によるツーリズム産業へ与えたマイナスの影響は大きく、国内マーケットは完全回復であるが、募集活動における復活は戻ってきていない。一方留学生は入国緩和以降、確実に動きは戻ってきている。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別説明会は職業観醸成の機会として、継続して開催する。 ・志願者へ直接的、かつ分かりやすい情報を伝えるべく、動画を活用した募集活動を継続。 ・オープンキャンパスは高校生に身近で親しみを感じてもらおう構成に変更。 ・Instagram は外部コンサルを入れ、デザイン、投稿コンセプトを刷新。学校 HP への導線も強化した。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	坂本 友理
--------	-----------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準・方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 入学選考は規程に定めた適正な基準に基づき実施しており、複数の面接官により対応している。留学生に対しては面接と日本語筆記試験の併用等により、公平性を確保している	留学生に関しては、一定レベルの日本語力が必要 又、近年は就職時、英語力も必要となるケースがある	日本語と英語の口頭試問ならびに入試前の学校見学での語学レベルを確認する。	入学試験結果一覧 面接記録
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 学科ごとに記録し正確に把握している <input type="checkbox"/> 入学者の特徴を把握し、柔軟に授業内容に対応している <input type="checkbox"/> 説明会参加者状況や過去実績をもとに予測している <input type="checkbox"/> 年度予算策定段階での入学見込者最終予測をベースに計画を立てている。	入学選考の評価や、高校の調査表の評価点を参考とした、クラス分け等への活用	入学選考の評価や、高校の調査表の評価点を参考に、クラス分け等に活用している。 TOEIC 対策については、ベーシックとアドバンスの2クラスにて実施している。	入学試験結果一覧 辞退者一覧 面接記録 出願状況一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学試験は公平に実施しており、一定のレベルを維持し続けている。	特待生入学試験制度は学生のレベルに応じて、パターンを設定している。（特待生 A・B・C）

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	坂本 友理
--------	-----------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 明確にしている <input type="checkbox"/> 把握している。他校との比較においても、適正金額であると判断している <input type="checkbox"/> 本校の学生募集要項、及び本校ホームページに明示している			学生募集要項 本校ホームページ
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	<input type="checkbox"/> 本校の学生募集要項、及び本校ホームページに明示し、適切に取り扱っている			学生募集要項 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学金、授業料、その他経費等、算定の過程は明確であり、金額的にも適正であると考えている。また募集要項やホームページに詳細について明示している。	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																																																																														
<p>本校は1982年の開校以来、学校法人化とその基盤整備、校舎拡張と学科増設、学生数の定員確保等に取り組み、単年度収支の改善等、学校運営に関しては厳しい環境での取組が続いたものの、2007年度以降は新入生の定員確保を継続することができた。</p> <p>これに連動して、単年の事業活動収入超過も継続し、計画的な設備投資も順調に進めながら、4号基本金(46百万円)を保持しながら、2017年度末には繰越収支差額は5億円を超え、財務基盤の安定化が図られた。</p> <p>このように着実に積み上げた運用財産を資金として、2018年度に長年賃借してきた学校用地と校舎の一部をJTBから譲り受け、本校校地と建物の自己所有化をほぼ実現した。</p> <p>しかしながらコロナ禍による業界不安が生じ、入学者が大きく減少した。このため2022年度決算では繰越収支差額がマイナスとなった。</p> <p>2023年度学校再生計画を策定し、寄附金を受領した。これにより、いったん財務上の不安を解消することができた。</p>	<p>将来にわたって経営が安定するように、本質的な課題を迅速に解決できる財務管理を推進する。</p> <p>具体的には、教育環境および学校運営も含め必要なデジタルイゼーションへの資金投資、老朽化した建物設備への設備投資、学校運営上必要に見合う支出コントロールを実施する。</p>	<p style="text-align: right;">[単位: 千円]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業活動収入</th> <th>基本金組入額</th> <th>事業活動支出</th> <th>当年度収支差額</th> <th>繰越収支差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>592,227</td><td>9,039</td><td>548,228</td><td>34,960</td><td>378,571</td></tr> <tr><td>2013</td><td>602,255</td><td>15,796</td><td>549,667</td><td>36,792</td><td>415,363</td></tr> <tr><td>2014</td><td>589,114</td><td>20,643</td><td>537,426</td><td>31,045</td><td>446,408</td></tr> <tr><td>2015</td><td>625,256</td><td>8,406</td><td>577,626</td><td>39,224</td><td>485,632</td></tr> <tr><td>2016</td><td>613,768</td><td>0</td><td>570,617</td><td>43,151</td><td>528,783</td></tr> <tr><td>2017</td><td>580,560</td><td>0</td><td>573,321</td><td>7,239</td><td>536,022</td></tr> <tr><td>2018</td><td>532,387</td><td>244,560</td><td>520,256</td><td>▲ 232,429</td><td>303,593</td></tr> <tr><td>2019</td><td>551,865</td><td>5,837</td><td>550,837</td><td>▲ 4,810</td><td>298,784</td></tr> <tr><td>2020</td><td>562,679</td><td>1,278</td><td>564,379</td><td>▲ 2,978</td><td>295,805</td></tr> <tr><td>2021</td><td>399,982</td><td>1,002</td><td>495,880</td><td>▲ 96,899</td><td>198,906</td></tr> <tr><td>2022</td><td>177,203</td><td>6,581</td><td>416,894</td><td>▲ 246,273</td><td>▲ 47,367</td></tr> <tr><td>2023</td><td>1,091,556</td><td>29,139</td><td>383,556</td><td>678,859</td><td>631,493</td></tr> </tbody> </table>	年度	事業活動収入	基本金組入額	事業活動支出	当年度収支差額	繰越収支差額	2012	592,227	9,039	548,228	34,960	378,571	2013	602,255	15,796	549,667	36,792	415,363	2014	589,114	20,643	537,426	31,045	446,408	2015	625,256	8,406	577,626	39,224	485,632	2016	613,768	0	570,617	43,151	528,783	2017	580,560	0	573,321	7,239	536,022	2018	532,387	244,560	520,256	▲ 232,429	303,593	2019	551,865	5,837	550,837	▲ 4,810	298,784	2020	562,679	1,278	564,379	▲ 2,978	295,805	2021	399,982	1,002	495,880	▲ 96,899	198,906	2022	177,203	6,581	416,894	▲ 246,273	▲ 47,367	2023	1,091,556	29,139	383,556	678,859	631,493
年度	事業活動収入	基本金組入額	事業活動支出	当年度収支差額	繰越収支差額																																																																											
2012	592,227	9,039	548,228	34,960	378,571																																																																											
2013	602,255	15,796	549,667	36,792	415,363																																																																											
2014	589,114	20,643	537,426	31,045	446,408																																																																											
2015	625,256	8,406	577,626	39,224	485,632																																																																											
2016	613,768	0	570,617	43,151	528,783																																																																											
2017	580,560	0	573,321	7,239	536,022																																																																											
2018	532,387	244,560	520,256	▲ 232,429	303,593																																																																											
2019	551,865	5,837	550,837	▲ 4,810	298,784																																																																											
2020	562,679	1,278	564,379	▲ 2,978	295,805																																																																											
2021	399,982	1,002	495,880	▲ 96,899	198,906																																																																											
2022	177,203	6,581	416,894	▲ 246,273	▲ 47,367																																																																											
2023	1,091,556	29,139	383,556	678,859	631,493																																																																											

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営 の中長期的な財務基 盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び 定員充足率の推移を把握し ているか <input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがと れているか <input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越 収入超過額がマイナスにな っている場合、それを解消す る計画を立てているか <input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度 消費収支超過額がマイナス となっている場合、その原因 を正確に把握しているか <input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっ ていないか <input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で 妥当な数値となっているか	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 学生数減少により支出 超過となった。 <input type="checkbox"/> 繰越収支差額の黒字化 に向け、中期シミュレーシ ョンを行い、重要会議での 報告、教職員への情報共 有を実施している。 <input type="checkbox"/> 経営会議で月次で進捗 を確認しており、内容を把 握している。 <input type="checkbox"/> なっていない。収支バラ ンスの中で適正な設備投 資を行っている <input type="checkbox"/> 負債はない。	<p>学校法人は公益法人であ るため、財務基盤を安定 させるには、入学者を増 やす以外に方法がなく、 そのためには提供するカ リキュラム含めた学校の価 値向上が必要である。</p>	<p>学校内で立ち上げた組織 横断の2つのプロジェクト (カレッジ再生プロジェク ト、カレッジ価値向上プロ ジェクト)を推進し、学生募 集課題とカリキュラム課題 を解決してゆく。 その結果として財務基盤 の安定化を目指す。</p>	理事会資料
8-28-2 学校及び法人運営 に係る主要な財務数 値に関する財務分析 を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況(消 費収支・資金収支)による財 務分析を行っているか <input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸 借対照表の数値による財務 分析を行っているか	<p>4</p> <p>4</p>	<input type="checkbox"/> 行っている。 <input type="checkbox"/> 行っている。			財務分析表

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか <input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4 4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 借入金はない <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 適切と認識している <input type="checkbox"/> 適切と認識している <input type="checkbox"/> 決算期以外は単月での月報を作成し、項目毎に予算消化率と前年比をチェックし、異常値については必ずその原因を確認している。 <input type="checkbox"/> 必要に応じ策定する			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
建物設備投資、建物補修工事、教育設備投資等は、2024年1月に立ち上げた学校改革プロジェクトにて対象を選定し、建物構造や工期など与件を考慮しながら実施可否の検討をし、計画的に実施する予定である。	1か月分の運転資金相当額を、基本金の中に4号基本金として確保しているが、少人数運営への取組により一部取崩しを実施する。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4 4	<input type="checkbox"/> 教育目標達成を主眼においた事業計画、実行計画を予算に反映させており、整合性はとれている	計画的な大規模設備投資の実施	中長期(3~5年)にわたる償却資産状況の把握 投資案件の優先順位付け	理事会資料 事業計画・予算案
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 策定している <input type="checkbox"/> 生じていない <input type="checkbox"/> 科目間調整を行う等して適切に補正措置を行っている <input type="checkbox"/> 経理規程を整備している <input type="checkbox"/> 予算外支出については立案による決裁を義務付け、適切な会計処理を行っている			経理規程 権限基準表

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育カリキュラムを反映した経費、プロジェクトでの抽出項目における投資を織り込んだ予算を編成し、内部統制を意識した適正かつ円滑な支出を執行している。	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 監事による監査を実施している <input type="checkbox"/> 報告している。 <input type="checkbox"/> 税理士法人による外部監査を定期的を受けている <input type="checkbox"/> 適切に対応している			理事会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本学では寄附行為に基づき、監事による業務、及び財産状況の監査を実施し、監査報告書を作成して、理事会・評議員会に提出している。</p> <p>上記とは別に、四半期毎に税理士による税務監査を実施しており、改善指導のあった場合は、速やかに対応している。</p>	<p>2023 年度期首の監事による内部統制ならびに運営状況ヒアリングにて、指摘された課題については、2023 年度期中に対応している。</p> <p>2024 年度期首の指摘も同様に対応をする予定である。</p>

最終更新日付	2024 年 6 月 1 日	記載責任者	鈴木 良照
--------	----------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく 財務情報公開体制を 整備し、適切に運用 しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、 適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 公開が義務づけられてい る財務帳票、事業報告書を 作成しているか <input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録し ているか <input type="checkbox"/> 公開方法についてホーム ページに掲載するなど積極 的な公開に取り組んでいるか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 財務情報公開に関する ルールを整備し、適切に 運用している。 <input type="checkbox"/> 適切に作成し、監事によ るチェックを受けている。 <input type="checkbox"/> 記録台帳を作成してい る。 <input type="checkbox"/> HP にて公開をしてい る。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
当校ホームページに速やかに財務情報を公開している。	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>コンプライアンスの推進については、学校法人としても極めて重要な経営課題の一つと認識している。教職員は、全ての学校関係者及び関係諸機関に対し、職務上の責務を負うとともに、社会全体からの信頼を裏切ってはならないという責任を担っている。</p> <p>当校では、全教職員が、市民社会及び JTB グループの一員としての信頼と責任を常に自覚して行動すべく、「学校法人国際文化アカデミー行動基準（JTC コード）」を定めてクレドカードに著し、月一度の夕礼の場にて全教職員唱和を行っており、また、これをベースとしてより具体的な遵守事項を定め、四半期毎に遵守状況の自己点検を行っている。</p> <p>また IT 関連については、「IT セキュリティ規程、及び基準」を設けてその適正な運用を徹底し、個人情報・機密情報等取扱いの厳格化に努めつつ、今年度も更なるセキュリティ体制強化に向けた設備投資を行った。</p> <p>課題をあげるとすれば、日常業務に忙殺された中でふとした隙にコンプライアンス意識を失うことから、相互チェックの励行とリスク管理体制の強化を試み、リスク発生の防止に努めていきたい。</p>	<p>適正な学校運営の推進に向け、関係法令及び専修学校設置基準等の遵守、及び運営に必要な規則・規程類の整備とその適正な運用については、最優先課題と位置づけて取組を進めている。</p> <p>また右記 JTC コードを定め、定期的にその自己点検を義務付けるなど、教職員の法令遵守意識の高揚にも取り組んでいる。特に「個人情報保護」については、コンプライアンス推進上の最重要課題と位置づけ徹底しており、全教職員がこれら法令遵守意識を継続して持ちながら、日常の職務にあたるのが重要である。</p> <p>その観点から、今後も引き続き当校における内部統制システムの円滑な運用を図るためにも、定期的に実施しているリスクマネジメント委員会の場を有効活用し、部署毎の遵守状況やリスク発生（含む未遂）例、個人情報保護管理状況の共有を図るとともに、発生の未然防止に向けた具体的取組の強化を図りたい。</p>	<p>＜学校法人国際文化アカデミー行動基準＞ （JTC コード）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法令を遵守し、公正な学校運営に徹します。 2. 人権を尊重し、健全な学校運営と良好な人間関係を築きます。 3. 社会常識・社会通念など社会倫理に則って行動します。 4. よき社会人・職業人として率先垂範し、学生の手本となります。 5. JTC 基本動作を守り、ホスピタリティーあふれる親身な対応を心がけます。 6. JTC の価値と JTB ブランドの維持・向上を図り、社会の信頼に応えます。

最終更新日付

2024 年 6 月 1 日

記載責任者

鈴木 良照

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	4	<input type="checkbox"/> 関係法令等の遵守により健全かつ適正な学校運営を行っている	遵守状況の定期的な確認の励行。関係法令等が追加、変更となった時の適正な対応。 教職員のみならず学生を含めたコンプライアンス教育や啓蒙活動の継続	学校運営に必要とする公的ルールのリスト化と、定期点検の実施。	学)国際文化アカデミー行動基準
	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	4	<input type="checkbox"/> 寄附行為をはじめ、就業規則、権限基準、その他必要規程類を整備し、適切に運用している			
	<input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	4	<input type="checkbox"/> セクハラ防止に向けた方針は明確化し、全教職員に周知している			
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか	4	<input type="checkbox"/> 総務部長を責任者とした対応窓口を設置している			
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 教職員に対しては、年に一度の全体会議と月一度の夕礼で JTC 行動基準を確認し、学生に対しては、授業の中にコンプライアンス基礎教育を織り込んでいる			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令及び専修学校設置基準等の遵守に基づく学校運営、並びに学校運営に必要な規則・規程類の整備と運用については、円滑に進めている。	当校独自の内部統制システムについては、管理職者を中心として徐々に確立しつつあるが、教職員個々の意識向上を目指し、全体的な CSR 推進意識強化に向けた、管理職層のレベルアップに精力的に取り組んでいる。

最終更新日付

2024年6月1日

記載責任者

鈴木 良照

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	4	<input type="checkbox"/> 個人情報の管理徹底を図れるよう、個人情報管理マニュアルに沿って確認を行っている。	個人情報取扱管理マニュアルに沿った適切な運用と定期的な管理徹底の継続	個人情報(紙)の削減と電磁記録への移行 日常業務での適正な運用方法の検証	個人情報保護管理規程 個人情報に関する基本方針
	<input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	4	<input type="checkbox"/> ITセキュリティ基準を定めている			
	<input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	4	<input type="checkbox"/> 講じている			
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	<input type="checkbox"/> 教職員については四半期毎に自己点検を実施、学生に対しては授業での教育に加え、実習時に個人情報保護の重要性を指導している			

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
個人情報保護対策は体系立てて取り組みを進めており、管理徹底に向けた啓蒙活動と定期点検の実施が極めて重要と考える。	卒業生を含む学生の個人情報保管用サーバーのオフライン化により、情報保護体制を強化。また I&J デジタルイノベーションへの業務委託により、常駐職員によるシステム運用状況の監視体制を強化している。 紙情報についても個人情報管理台帳を用い、四半期ごとに存在確認を行っている。

最終更新日付

2024年6月1日

記載責任者

鈴木 良照

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4 4 4	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 毎年度終了後に部門単位にて学内実施 <input type="checkbox"/> 改善に取り組んでいる	自己評価結果を踏まえた学校運営における PDCA サイクルの確立、及び全教職員の取組意識強化	将来的な第三者評価の導入を意識した組織体制の整備	理事会・評議員会資料
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4 4	<input type="checkbox"/> 報告書を作成している <input type="checkbox"/> ホームページに掲載している			
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 企業・地域・卒業生から委員を選任している <input type="checkbox"/> 取り組んでいる			
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4 4	<input type="checkbox"/> 報告書としてとりまとめている <input type="checkbox"/> ホームページに掲載している			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価および学校関係者評価については、継続実施し、明確となった課題の対応を実施し改善につなげている。また、中長期的な課題は、学校運営計画に組み込み PDCA サイクルを確立している。ホームページに掲載し広く社会に公表している。	自己評価による課題点をより早期に確認するため、年度決算終了後、速やかに学校評価委員会を実施している。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する 情報公開を積極的 に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、 教職員等教育情報を積極的 に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界 等広く社会に公開しているか	4	<input type="checkbox"/> 学校パンフレット、当校 のホームページにて公開 している			学生募集要項 当校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
HPによる情報公開を積極的に実施している。	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	鈴木 良照
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献」についてはコロナ感染症5類移行に伴い、JTBグループを中心としたツーリズム関連事業者・団体との交流、地域、地元信用金庫・商店街・町会との交流などが復活、充実した一年となった。</p>	<p>豊島区をはじめとする行政や東京都専修学校各種学校協会等の各種教育団体及び地元巣鴨商店街や町内会等と、地域との共生の観点からも積極的に情報交換や交流はこれまで通り推進していくと共に、JTBグループのネットワークを活かした新しい連携を探っていく。</p>	<p><貸教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種資格試験にて団体受験用に教室を使用 ・国際観光学会総会への会場として利用いただき、大学の先生方とのネットワークの一助とした。 <p><留学生の地元行事参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巣鴨「とげぬき地蔵」盆踊り→4年振りに参加 ・「天祖神社」神輿担ぎ→都合により不参加 <p><他校との交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駿台トラベルホテル専門学校との合同就活イベント(合同面接訓練&ディスカッション) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「データマーケティング講座」にて巣鴨信用金庫連携による講義、ならびに「巣鴨地蔵通り商店街活性化」をテーマとした研究、プレゼンテーションの実施。商店街会長へのヒアリングによる研究ブラッシュアップ ・SDGs ワークショップの前段として「巣鴨」をテーマとした授業時間を設定。

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input type="checkbox"/> 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	4 4 — 4 4 4 1 4 3	<input type="checkbox"/> JTB グループ行動規範に盛り込まれており、それに基づいたJTCコード内容にて実践している。 <input type="checkbox"/> 巢鴨地藏通り商店街、巢鴨信用金庫と連携。 <input type="checkbox"/> 学校運営方針に即しておらず受託していない。 <input type="checkbox"/> 開放している。 <input type="checkbox"/> 依頼のあった学校に対して支援している。 <input type="checkbox"/> 入学相談室が主体となって、学校見学を実施している <input type="checkbox"/> 過去実施していたが、現在は講座内容も含め検討中 <input type="checkbox"/> 地元町内会とクリーンアップ活動、SDGS ワークショップの前段で「巢鴨」をテーマとした授業実施 <input type="checkbox"/> 教職員には、JTC コード遵守を認識させ、学生には社会人基礎的能力の必要性を授業で伝えている。	一過性の取組だけでなく、継続的な新規取組の開拓が必要	地域との共生の観点から、地元商店街や町内会とは今後も積極的な交流を推進するとともに新たな事業連携先の開拓していく、	町内会、関係機関とのクリーンアップ活動記録 データマーケティング授業資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	1 1 4 3	<input type="checkbox"/> 具体的な方針は定めていない。 <input type="checkbox"/> 2023年度は該当なし。 <input type="checkbox"/> 留学生の受入窓口は国内の日本語学校であり、23年度はメールマガジンの配信開始 <input type="checkbox"/> 日本人合同クラス、留学生単独クラスを編成し、体系的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 入学希望者に対する募集要項、来校時の学校説明などにより具体的に情報を発信している。	日本国内の留学生(日本語学校)へのアプローチ継続と新規日本語学校の開拓。 日本国内以外の留学生へのアプローチ。	オンラインでの国際交流の可能性を学外企業と連携して新たなモデルを確立する。 学校の魅力、安定的な就職先実績の可視化と日本語学校への発信。 在留留学生ネットワークを活用した新たな販促ルートの開拓。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
4年振りのとげぬき地蔵(高岩寺)盆踊りへの留学生参加、巣鴨地蔵通り商店街ならびに巣鴨信用金庫との授業連携など、交流の復活を様々な形で実現できた一年であった。	

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4 4 4 4 4	<input type="checkbox"/> 地域の清掃活動等のボランティアプログラムを学生向けに設定している <input type="checkbox"/> かつては授業として単位を付与していた <input type="checkbox"/> ボランティア、地域交流の活動は学内で共有するとともに、教職員の参加も奨励している。	スポットでの参加ではなく継続的な取組の開発。	JTB グループ他、各自治体からの情報収集と実績団体との継続的な意見交換 ボランティア活動の評価手法の検討	学生レポート Instagram 発信記事

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クリーンアップ活動を中心とした地域ボランティア活動を定着させるとともに、更なる活動の拡充(内容・エリア)を検討	JTB との産学連携による参加活動 「SAMURAI WEEK (甲府)」「千葉大多喜町ワークショップ」「JTB 地球いきいきプロジェクト (千葉南房総市)」参加

最終更新日付	2024年6月1日	記載責任者	堀口 由美子
--------	-----------	-------	--------

4. 2023 年度重点目標達成についての自己評価

2023 年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p><主な数値目標></p> <p>1. 入学者数:目標 140 名(定員 240 名)</p> <p>2. 基本金組入前当年度収支差額: ▲297,503 千円(当初予算) 701,425 千円(補正予算)</p> <p>3. 旅行業務取扱管理者資格試験合格率: 総合 40%以上 国内 70%以上 又は、全国平均の 2 倍</p> <p>4. 就職内定率(希望者、除く留学生):100%</p>	<p><主な数値実績></p> <p>1. 2024 年度入学の新入生は 41 名となり、大幅な定員割れとなった。</p> <p>2. 基本金組入前当年度収支差額は 707,999,887 円となり、目標は達成となった。</p> <p>3. 旅行業務取扱管理者合格率(観光科1年)は 総合 20.0% 国内 70.0% となり総合は目標 40%未達であったが全国平均 2 倍は達成(全国平均 7.9%)、国内は目標達成であった。</p> <p>4. 令和 5 年度の日本人卒業生就職内定率は 100.0%となり、目標は達成した。</p>	<p>2024 年度についても、主要数値目標として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者数:目標 90 名(定員 240 名) ・ 基本金組入前当年度収支差額: ▲88 百万円 ・ 旅行業務取扱管理者合格率(観光科1年): 総合 40%以上 国内 70%以上 又は、全国平均の 2 倍 ・ 就職内定率(希望者、除く留学生):100%とする。 <p>2024 年度は中期経営計画「JTC Re-Born 計画 2028」を策定し、3本の柱である「学生募集改革」、「カリキュラム改革」、「キャリア支援改革」を強力に推進し、それを支える基盤整備の充実も図りながら、新たな専門学校モデルへの再生を図っていく。</p> <p>教務・進路指導・入学相談・総務各部署別の計画を着実に実行するとともに、横断的なプロジェクトとして「カレッジ再生 PJT」と「価値向上 PJT」を定期的に遂行し、経営会議や部長会を通じて適時進捗状況を共有し、必要に応じて計画に修正・改善を加える等、確実にこの学校運営計画を推進することとしたい。</p>